

平成21年度
入学試験問題

国 語

特待生
前期

受験番号	氏 名

中村中学校

一 次の(1)～(10)の——線のカタカナは漢字に直し、漢字はその

読みを答えなさい。

- (1) 水分をカクホする。
- (2) 先生のお宅をホウモンする。
- (3) 何回もココロみて成功した。
- (4) 約束をやブってはいけない。
- (5) 大陸をオウダンする。
- (6) 例を挙げて話す。
- (7) いさぎよく進退を決める。
- (8) 一族の存亡にかかわる。
- (9) 値段をはっきりと明示する。
- (10) 日本語に訳す。

二 次の会話文の——線(1)～(5)の言葉を、前後がつながるよう

に敬語に直しなさい。

- 生徒「先生、昨日母が先生に言った件ですが……。」⁽¹⁾
- 先生「ああ、お母さんが保護者会に来てお話ししてくれた件だね。」⁽²⁾
- 生徒「そのことで先生がいつお返事をくれるのか、聞いてくるよ」⁽³⁾
- うに言われました。」⁽⁴⁾
- 先生「では、今度の面談で会ったときに、直接お返事すると伝えてくれるかな。」⁽⁵⁾
- 生徒「わかりました、そのように伝えます。」

③ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

* 字数指定のある問題については、句読点・記号も字数に数えます。

① チンパンジーの話始める前にニホンザルの話を少しします。

サルというと皆さんになじみのある動物でしょう。温泉に入っ
頭に雪をのせた志賀高原のサルですとか、高崎山など日本各地に
ある野猿公園のサルを見たという方も多いでしょう。

② A、実際にサルを見るだけではなく、小さいころから『桃

太郎』のサルとか、『猿蟹合戦』のサルとか、隣国である中国の
「孫悟空」とか、そういう民話に日本人は慣れ親しんできました。
ところが、世界中の人々がみなそうだというわけではありません。

③ というのは、先進諸国の中で、たとえばサミットを構成する国々

の中で、サルが住む国は日本だけです。アメリカ、イギリス、フ
ランス、ドイツ、イタリアといった国々には、サルが住んでいま
せん。ですから、かれら西洋人にとって、サルはけっしてなじみ
のある動物ではありません。

④ B、『イソップ物語』にも『グリム童話』にも『マザー

グースのお話』にもサルの話はほとんど出てきません。念のため

『イソップ物語』の原典をひもいってみました。全三五八話の中

に、サルが主人公の話が二話だけありました。ですから、サルが

全然出てこないわけではなくて、少しは出てくるのですが、ほと
んどの話はクマとかウサギとかキツネとか、かれらの身のまわり
にいる親しみのある動物が主人公です。

⑤ 日本はサルが住む国です。一般の方々がサルのことをよく知っ
ています。実際に野山で住むサルを容易に見ることができると
いう自然的・文化的背景が、「日本の霊長類学」というものをき
わめてユニークなものにしてきたと思います。

⑥ 多くの学問が、明治以来、西欧の横文字で書かれているものを
日本語の縦書きに移し直すというところから始まりました。こ
の約一三〇余年間、われわれの父母、祖父母の世代、さらに曾
祖父母の世代とさかのぼって、努力を重ねてきたわけです。

⑦ C、霊長類学に関していえば日本が世界に向けて発信し

てきました。常にその学問のフロントランナーだったという意味
で、きわめてユニークな学問だと思います。その背景には、いま
申し上げたように日本という国が先進諸国の中で唯一、サルが住
む国だということがあったと思います。

⑧ 日本の霊長類研究は一九四八年に始まりました。京都大学の講
師だった今西錦司さん（一九〇二—一九九二）と、伊谷純一郎

さん（一九三六—二〇〇一）ら三人の京大の学部生が、宮崎県の
幸島に野生ニホンザルの調査にかけたのです。人間の社会の進

化的な起源を知りたい。そのためにはヒトと近縁なサルきんえんの研究が必要だと考えたのです。「サルにも人間の③ような社会があるか」という問いでした。

40

⑨ 当時まだ、野山に出てサルを追うことが学問になるなどは、ほとんどの人が考えてもいませんでした。双眼鏡そうがんきょうをもって、サルの暮らしを追い、丹念たんねんにノートに記録する。今西さんを中心とする若い京大生たちは、北は下北半島しもきたから南は屋久島やくしままで、日本各地の野山に入りました。最初の七年間に、今西たち一〇人のグループが、幸島・高崎山・嵐山あらしやまなど一九の調査地をめぐり、のべ一五〇〇日も山でサルを追いつづけました。

45

⑩ その結果、今まで世界中のだれも知らなかったサルの社会や暮らしがわかってきました。複数のオスと複数のメスからなる集団が、いつも一緒に行動いっしょしています。秋から冬にかけて交尾をして、春から夏にかけて子どもが生まれます。「ヒトリザル」とか「ハナレザル」と呼ばれる単独で行動するものがありますが、それらは例外なく《a》《b》《c》の子どもは四〜六歳

50

ころに、生まれた群れを出てよその群れに入ります。《c》の方は、生まれた群れに残る。ということは、母から娘へと連なる母系社会だということがわかりました。

55

⑪ 最も有名な研究は、「ニホンザルの芋洗いもい」の発見です。一九

五三年の夏に、個体番号一一一のメスの子ザルが、海に注ぐ小さな流れで、人が与えたサツマイモを水で洗って食べるようになったのです。その奇妙な行動きみょうから、この小ザルは「イモ」とニックネームで呼ばれるようになりました。イモは当時一歳半さい。ニホンザルの寿命じゅみょうは約二〇年で、ヒトの約四分の一ですから、人間でいえば六歳前後の子どもです。

60

⑫ その後、二つの経路でこの芋を洗う行動が群れの中に広まりました。ひとつは血縁けっえんです。イモの母親と年下のきょうだい⑩が洗うようになりました。もうひとつは遊び友達です。イモの一歳年長か年少の子どもたちが洗うようになりました。

65

⑬ 興味深いことに、※伝播でんぱの過程で芋洗いの行動が変わっていきました。最初は真水で洗ったのですが、海までもって行って海水で洗うようになりました。また砂にまみれていない芋を、わざわざ海水にひたして食べるようになりました。汚れよごを落とすためか、塩味をつけるためへと変化したのです。

70

⑭ 幸島のサルの芋洗いは、「人間以外の動物にも文化がある」ということを示した最初の研究だと言えるでしょう。幸島の野生ニホンザルの研究は今も続けられています。野生動物の社会を継続けいぞく的に記録した世界で最も息の長い研究になっています。すでに半世紀以上にわたって、八世代のべ五〇〇頭のサルの家系図が記録

75

され、「サル」の国の歴史」がつむぎ出されています。

15 チンパンジーに話題を進めましょう。チンパンジーというのは、多くの人は「黒くて大きなサル」だと思っているでしょう。また実際、黒くて大きなサルの仲間なのですが、正確には、ニホンザルとチンパンジーとはかなり違ちがった生き物です。英語でいうと、その違いが簡単です。

16 サルはモンキー (monkey)、チンパンジーはエイプ (ape) の一種です。その外形の区別も簡単です。モンキーというのは尻尾しっぽがあります。エイプというのは尻尾がありません。ここでいきなり最初から詳しい分類の話は控ひかえますが、モンキーとエイプの区別、尻尾のあるなしの区別は心にとめておいてください。

17 ところで人間も尻尾がありませんね。だから、ほんとうはヒト (学名ホモ・サピエンス) という動物はエイプの一種なのです。ただ、どうしても人間はこの世界を自分中心に見てしまいます。「人間と動物」という二分法は、われわれが抱いだく素朴そぼくな信念であって、科学的な真実ではありません。

18 DNAの塩基配列を比較ひかくした最新しんせいの研究によれば、ヒトとチンパンジーの遺伝的な差はおよそ一・二パーセントだそうです。ヒトとニホンザルは八く九パーセントほど違うと言われていますから、チンパンジーはニホンザルに近いのではなくて、きわめてヒ

トに近いと言えるでしょう。

19 体の形は化石に残りますが、心とかことばといったものや、暮らしや社会といったものは化石に残りません。「われわれは、どうしてこのように考えるのか」、人間の由来を理解するためには、化石人類を調べるだけではわかりません。現在生き残っている、もっとも近縁な仲間であるチンパンジーを調べる必要があります。

20 現在生きているチンパンジーの心やことばや社会や暮らしと比較することによって、約五〇〇万年前までは同じひとつの生き物だったヒトとチンパンジーが、それぞれの進化の過程でどのように違ってきたかがわかります。今もなお両者う者に共通する特性であれば、それは約五〇〇万年前の祖先にもあった特性だと考えられます。

21 われわれの体が進化の産物であると同様に、われわれの心も進化の産物エです。心は化石に残りません。でも、チンパンジーという存在は、「心の進化」を読み解くための生きた化石だと言えるでしょう。

(松沢哲郎『進化の隣人 ヒトとチンパンジー』)

※サミット……先進国首脳会議。

※原典……もともになった書物。

※霊長類学……霊長類（ヒトやサル）に関する学問。

※ユニーク……ほかにはない特色を持っているようす。

※フロンランナー……その分野の先頭を行く人。

※伝播……つたわって広まること。

※DNAの塩基配列……生物の特徴（とくちょう）を決める設計図のようなもの。

問一

A	く	C
---	---	---

 にあてはまる語を次からそれぞれ選び、

記号で答えなさい。

ア、したがって イ、さて ウ、しかし エ、また

問二 —— 線① 『グリム童話』に収められている物語を次から一

つ選び、記号で答えなさい。

ア、赤毛のアン

イ、白雪姫（ひめ）

ウ、西遊記

エ、不思議の国のアリス

問三 —— 線②とありますが、どうして霊長類学については日本

が世界に発信できたのですか。その理由として最も適当なも

のを次から選び、記号で答えなさい。

ア、日本は西欧のサルの物語を訳して親しんできたから。

イ、日本は明治以来、西欧の学問を必死に取り入れてきたから。

ウ、日本はサルが住む国で、多くの人がサルになじんでいるから。

エ、日本は先進国の中で唯一霊長類の研究を行っているから。

問四 ——— 線③とありますが、サルの社会はどのような社会だとわかりましたか。本文中から十三字でぬき出しなさい。

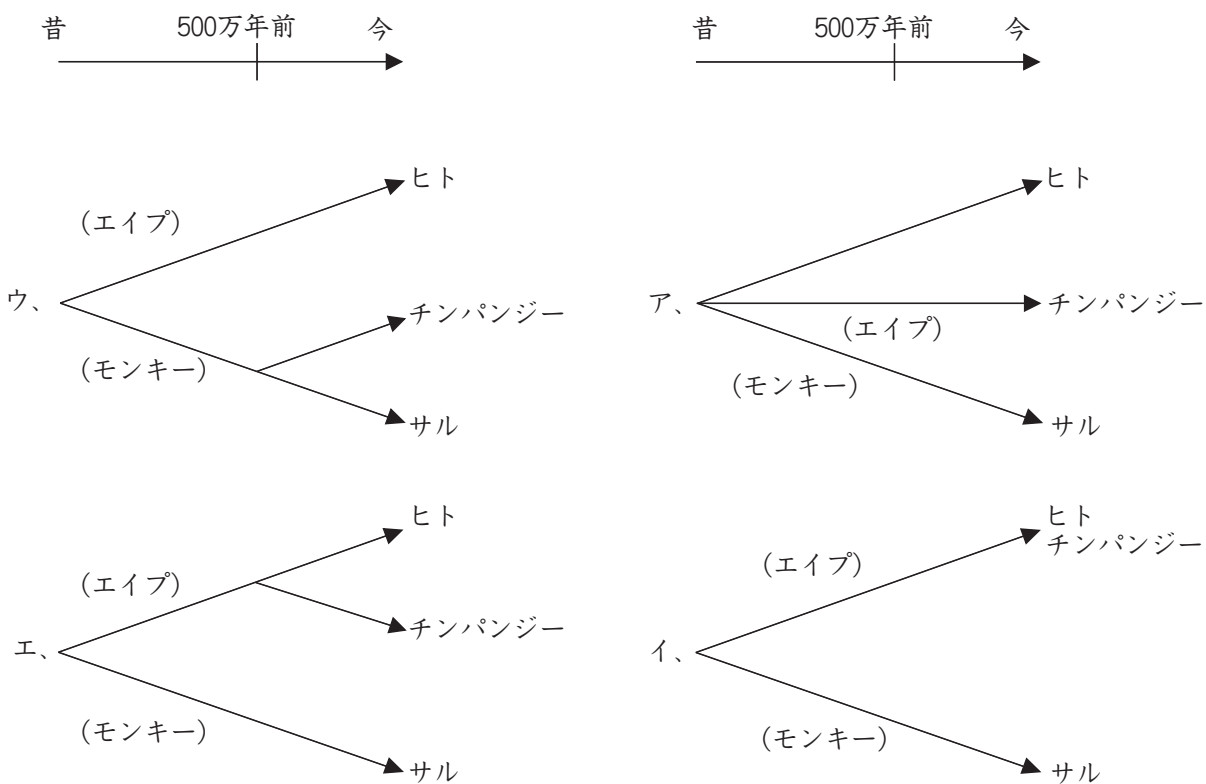
問五 ≪ a ≫ ≫ ≪ c ≫ に、本文の内容に合うように「オス」「メス」のいずれかを入れなさい。

問六 ——— 線④「ニホンザルの芋洗い」から最終的にわかったことはどういうことですか。本文中から二十一字でぬき出しなさい。

問七 ——— 線ア「真実」、イ「最新」、ウ「両者」、エ「産物」のうち、熟語の組み立てが他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問八 ——— 線⑤とありますが、チンパンジーを調べることで『心の進化』を読み解くことができるのはどうしてですか。七十五字以内で答えなさい。

問九 ヒト・チンパンジー・サルの関係について正しく示したものを次から一つ選び、記号で答えなさい。



問十 この文章全体を大きく三つの部分に分ける分け方として最も

適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|----|---|---|----|----|----|----|----|
| ア、 | 1 | 3 | 4 | 5 | 16 | 17 | 21 |
| イ、 | 1 | 3 | 7 | 8 | 14 | 15 | 21 |
| ウ、 | 1 | 3 | 7 | 8 | 16 | 17 | 21 |
| エ、 | 1 | 3 | 10 | 11 | 14 | 15 | 21 |

四 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(設問の都合上、本文を省略したところがあります。)

*字数指定のある問題については、句読点・記号も字数に数えます。

トモコ(本名は田辺智子、あだ名はゲジベエ)は親の借金のせいで、転校することになっている。そのトモコに好意を持っているぼく(ヒロシ)と吉野は、数日間学校を休んでいるトモコのとが気になり、もう引越してしまったのかどうか、家まで見に行った。トモコの家の前に着き、そこで吉野がハッと二階を見上げた。

「見たか……いま、二階のカーテン動いたぞ」

「うそ」

「ほんまじやて、その右側じゃ、よう見てみい」

ベランダに面した、右側の窓。黄緑色のカーテンが、ほんとうだ、揺れた。

※「ゲジベエの部屋ど、そこ」吉野の声が高くなる。「おるんじゃ、あんなん」

ぼくがうなずく間もなく、てのひらをメガホンにして怒鳴った。

「ゲジベエ！ 出てこいや！ ヒロシがのう、おまえのこと、ブスじゃけど好いとるってや！」

アホだ。こいつ、死ぬほど、アホ——。

カーテンが真ん中から勢いよく開いて、ふくれつつらの田辺智子

10

5

が顔を出した。長い髪を、今日は左右に分けて、赤い髪留めがサクランボみたいだ。

※「こんなん、ずる休みしたんじゃろうが！ ヒロシがのう、さびしいさびしい言うてせろしいけえ、遊びに来たつたど！ その三角公園におるけえ、顔出せや！」

声を張り上げる吉野の顔は、怒ったように眉を寄せていた。でも、ぼくは知っている。泣きそうなときに眉をひくつかせるのが、あいつの癖だ。

①「ちよつと、へんなこと大声で言わんといてよ、ヨッチ」

トモコはいつも、吉野を幼稚園時代のあだ名で呼ぶ。お返しに「ゲジベエ」のあだ名をつけたのは吉野だ。

②「矢沢くんにも迷惑やろ？」

② ヒロシ——とは呼んでくれない。ぼくの顔も最初にちらっと見ただけで、あとはずっと吉野のほうを向いている。

吉野はにやにや笑いながら、「オンナの『好かん』は『好き』のうち、いうけどのう」と、とぼけた声で言う。なんでそういうことを言うんだらう。もう会えないかもしれないのに。これが最後かもしれないのに。アホだ。ガキだ。

「ヨッチ、あんた、こんなんで中学生になって、みんなから笑われてもしらんよ」

30

25

20

15

A 言ったトモコは、不意にぼくを振り向いて「ねえ？」と笑った。

目を伏せた。頬と、耳たぶが熱くなる。トモコは気にならないんだらうか。好きなオトコと平気でしゃべれるぐらいおとななんだろうか。

「のう、ゲジベエ」

吉野の声が変わった。顔はわからない。ぼくにもトモコにも背中を向けて、足元の土をつっかけながら、言う。

「引越し、いつするんか」

「今度の日曜日」

トモコは驚くほど B 答え、ぼくと少し距離をおいて柵に軽く腰かけた。

「……早えのう、今月いっぱいはおの家におれるん違うんか」

「うん、でも、もうええんよ」

「なしてや」

「うちね、金曜から広島行つとったんよ。さっき帰ってきたんじゃけど、けっこうええところだね、おかあさんと、どうせ卒業式までおれんのやったら早う転校しようか、て。そのほうが、向こうでもだちでできるやろ？」

C しゃべる。強がったりごまかしたりしている様子はない。

「やれんのう、つまらん親のせいで。わしじゃったら……」

吉野の声を途中でさきえぎって、「 I 」とトモコ

は初めて声をとがらせた。

吉野はまだトモコを振り向かない。足元の土をズックのつま先で掘りつづける。「卒業式まで、おりゃあええが」と、声はほとんどつぶやきに近くなった。

「野宿するん？」

トモコは肩を揺すって短く笑い、その笑顔をぼくに向けた。さつきと同じようにぼくは目を伏せて、でも、一瞬だけ見た笑顔^③を忘れたくないから、うつむいても、そっぽを向いても、ほんとうはなにも見ていない。

「親戚とか、おるじゃろうが」と吉野は言った。

トモコはぼくから目をはずし、また短く笑う。

「おるけど、もう無理よ、お金のことで迷惑かけとるけん、これ以上ずうずうしいこと言えんの」

家出すればいい、ウチに来ればいい。言えるわけのないことを、

ぼくは心の中でつぶやいた。

「わしかたに泊めちゃうるか？」

吉野が言った。背中を向けたまま、ぴくんと持ち上がった両肩につられてしまったような、うわずった声で。

トモコは返事をしなかった。吉野も黙る。ぼくも、ぼくなんか、
なにも言えない。

吉野は肩から力を抜いて「一泊百万円じゃけどの」と言った。

「なあん、アホなことばあ言うんじゃけん」

トモコは柵の格子につま先をかけて体を支え、吉野の背中に軽く
ゲンコツをぶつける真似をした。

吉野は「卒業式までおりやあええんじゃ、ほんまに」と吐き捨
てる声で言って、もうぜったいに振り向かないと決めたみたいに、一
発、右キックで土を蹴った。

空に高く舞い上がるサッカーボールを思い描いた。

ボールはどこまでもぐんぐん伸びて行って、空の青に吸い込まれ
て、消える。

「ゲジベエ」

ぼくは言った。声が喉をくぐると、あとはもう考えをめぐらせる
間もなかった。

「のう、ゲジベエ、こんなん、ヨッさんのこと好きなんじゃろうが」

※太賀誠みたいに——言えなかった。太賀誠が本気で怒ったらす
ぐに叩きのめされてしまう、その他大勢の不良みたいな、ねばつい
たカッコ悪い言い方になった。

トモコはきよとんとした顔になって、「はあ？」と返した。驚い

ただけじゃない、頭の中のどこにもそんな考えはなかったように。

※「ヒロシ、カバチたれんな！ わりや、くそボケが！」

吉野が[D]怒鳴る。勘の鋭い奴だ、こういうところは妙に。

たじろいだところに、トモコが「矢沢くん、いまのどういう意
味？」ときいてくる。「なんで、うちがヨツチのこと好きにならん
といけんのん？」

「あたりまえじゃ！　こんなんに好かれたら、わしが迷惑じゃ、ア
ホブスガ！」

吉野、いま頭の中がぐちゃぐちゃになってるんだろ、おまえ。

「早う夜逃げすりやええんじゃ！　こんなんが学校に来とったら、
わしらまでゲンクソが悪うなるわい！」

こっち向け吉野、トモコを見て、ほんとうのこと言え、言えなく
ていいから、泣きそうな顔、見せてやれ。

「ヒロシが言うたん嘘じゃ！　ほんまはヒロシがこんなんのこと好
いとるんじゃ！　さっきも言うたろうが！　どげんするんか！　こ
んなんも好きなんやったら、ヒロシにキスしちゃれ！」

アホ。くそボケ。吉野、おまえ、いっぺん死ね。

泣きたくなった。なんで吉野のかわりにぼくが泣かなくちゃいけ
ないのかわからないけど、まぶたが熱くなる。

トモコは柵から降りた。ゆっくりと歩いて、ぼくと吉野のちよう

ど真ん中で立ち止まる。ダッフルコートのポケットに両手を入れ、寒そうに肩をすぼめて、吉野に言った。

「うちも、矢沢くんのこと好いとるよ。昔から、ずーっと好いとったん」

空に消えたサッカーボールが落ちてくる。

トモコはぼくに向き直った。初めて、恥はずかしそうにまばたいた。

ぼくはまっすぐにトモコを見つめる。逃にげるな、と自分を叱しかった。

ボールは足元に転がった。右足を振り抜けば、得意のアウトステツプキックを決めれば、ゴールネットは大きく揺れる。

息を吸い込んで口を開きかけた、そのとき——吉野が甲高い裏声で喉を鳴らした。

「ひょうひょうっ！ 愛の告白じゃあ！ ヒロシ、どげんするんな、プロポーズどお！ ひょうひょうっ！」

背中を踊わるようにくねらせる。肩が持ち上がって、わかってるんだ、いま、おまえ、眉がひくひくしてるだろ、ぜったい。

ぼくはもう一度息を吸い込んで、吐き出す息に「元気での」と早口の声を交ぜた。

トモコは黙って小さくうなずいた。

「ヒロシ、早う言わんかい、好きじゃ好きじゃ好きじゃアイラブユーいうて！」

吉野は足まで使って、ほんとうに踊りはじめた。

アホ。

ぼくはトモコに目配せして吉野の背中を指さし、人差し指で円を二回描いて、てのひらを開いた。くる、くる、ぱあ。ゴール前でパスしてやったボールを空振りする奴って、どこのチームにもいるんだから。

トモコはコートのポケットに手を入れたまま、肩をさらにすぼめて、ほんまやね、と笑った。

サイコーの笑顔だった。

「わし、オンナに興味ねえけん」

ぼくは柵から道路にジャンプした。着地にしくじって右の足首をくじきかけたけど、公園の外に停めた自転車に向かって走った。サイテーの顔を見られたくなかった。

自転車をしばらく走らせてから後ろを見ると、トモコは——田辺智子は、一人で公園を出るところだった。ぼくを振り返らず、吉野のほうも振り向かずに、小走りに、田辺さんは家に帰っていった。

(重松清『半パン・デイズ』)

※あんなん……あいつ。

※こんなん……おまえ。

※せろしい……うるさい。

※太賀誠……マンガの主人公。

※カバチたれんな……ふざけたことを言うな。

問一 —— 線①の「へんなこと」とはどういうことですか。その

内容を三十五字以内でまとめなさい。

問二 次の文は、—— 線②における「ぼく」の気持ちを表わした

ものです。空らんにあてはまる言葉を、本文中からぬき出して答えなさい。

トモコに「1」で呼ばれる「2」がうらやましく、
トモコのこと「3」な「ぼく」も下の名で呼ばれたいが、
そうはしてもらえず残念である。

問三

 に入る表現を次からそれぞれ選び、記号

で答えなさい。

ア、あわてて イ、あっさり

ウ、あきれて エ、微笑^{ほほえ}み交じりに

問四 「I」に入る会話を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、ヨッチとうちとは立場がちがうんよ
- イ、広島はどこが悪いんよ
- ウ、うちはなかなか、ともだちできんから
- エ、おとうさんのこと、悪う言わんといて

問五 ——線③とありますが、この時の「ぼく」の気持ちを二十

字以内で説明しなさい。

問六 ——線④について

- (1)「右足を振り抜く」とは、ヒロシのどのような行動をたとえていますか。次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア、吉野に背を向けてこの場から走り去ること。
 - イ、トモコに別れの言葉をつきつけること。
 - ウ、トモコへの好意を思いきって伝えること。
 - エ、吉野にトモコへの告白をせまること。

- (2)「ゴールネットは大きく揺れる」とは、どのようなことをたどえていますか。二十字以内で答えなさい。

問七 ——線⑤とありますが、ヒロシは何が「わかっている」と

いうのですか。本文前半部分の表現を参考にして、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、吉野が泣きそうにしていること。
- イ、吉野がうれしそうにしていること。
- ウ、吉野が悔しくやしそうにしていること。
- エ、吉野が照れくさそうにしていること。